

古代阿波の仏教文化 ―寺院と仏像―

湯浅 利彦

はじめに

- ・対象の時代

古墳時代3世紀末～7世紀

飛鳥時代

奈良時代

平安時代

鎌倉時代

6世紀末～7世紀

8世紀

9世紀～11世紀末

12世紀

← 古代 → ← 中世

古代とは「飛鳥時代～奈良時代～平安時代中期まで」をいう

6世紀末～11世紀末 約500年間

- ・古墳時代終末期と飛鳥時代の関係

646薄葬令

高松塚古墳（7C 末～8C 初）径18m 円墳

牽牛子塚古墳（7世紀末）対辺22m八角形墳

- ・仏教文化の渡来と受容

寺院＝古墳築造に代わる権力誇示のモニュメント

仏教文化（造寺・造仏）は土木・建築・金工・絵画など多くの新技術の導入

6世紀末 飛鳥寺・四天王寺・法隆寺など 畿内から地方への広がり

仏像（彫刻・絵画）など仏教美術・工芸の広がり

12世紀 地方へ本格的普及 ＝今回この時代まで対象

1 古代の文化

（1）仏教伝来

資料1参照

6世紀～

中国北朝 → 高句麗・新羅 →

中国南朝 → 百済 → 日本列島

渡来人が将来した文化（儒教・仏教・医・易・暦など）

百済聖明王から 仏教公伝（538年説・552年説） 渡来人中心の信仰

（2）飛鳥文化

資料2参照

6世紀末～

中国南北朝・朝鮮三国の影響

蘇我氏・厩戸皇子（聖徳太子）の仏教信仰

氏寺 蘇我氏＝飛鳥寺、厩戸王（聖徳太子）＝法隆寺・四天王寺

※寺院数 推古32（624）年当時46カ所（遺跡同数）ほぼ畿内、一部吉備

（3）白鳳文化

資料2参照

7世紀後半

新羅・初唐文化の影響

藤原京の造営

官寺＝大官大寺・薬師寺 氏寺＝山田寺

※天武14（685）年詔「諸国の家毎に仏舎を作りて、乃ち仏像及び経を置きて、礼拝供養せよ」→郡家と一体的に成立する例も多い

※寺院数 持統6（692）年当時545カ所（遺跡約500）

- (4) 天平文化 唐文化(国際的)＋貴族的色彩 資料3参照
 8世紀 平城京遷都
 国家仏教＝鎮護国家 東大寺(大仏) 国分寺・国分尼寺の造立
 唐招提寺 鑑真 仏像造立
 行基の布教活動 → 大仏造立に協力
- (5) 弘仁貞観文化 唐文化の影響・新仏教
 8世紀末 長岡京・平安京遷都 = 強大になりすぎた仏教勢力との分離
 ～9世紀 新仏教 最澄＝比叡山延暦寺 空海＝高野山金剛峯寺・東寺
 室生寺など山岳寺院建立 教団の成立
- (6) 藤原文化(国風文化) 遣唐使の廃止＝大陸文化の相対化・宮廷文化
 10～11世紀 仮名文字の一般化 『古今和歌集』『土佐日記』『源氏物語』『枕草子』
 仏教文化 浄土信仰＝阿弥陀信仰 神仏習合 修験道 寝殿造・庭園
- (7) 院政期の文化
 12世紀 浄土信仰文化の地方波及 平泉中尊寺・白水阿弥陀堂(陸奥)
 富貴寺大堂(豊前)

2 徳島の古代仏教寺院

- (1) 古代寺院 資料4・10参照
 古代寺院・瓦窯跡 痕跡は40カ所あまり
 実態の判明しているものは極めて少ない
- (2) 白鳳期創建の寺院
- ①栗評の地域
- ・石井廃寺【童学寺】(名西郡石井町) 1957～59発掘調査 資料4・5参照
 7世紀末～8世紀前半の建立 藤原宮と同范瓦
 塔跡 基壇10×10m、3間×3間(5.3×5.3m)
 金堂 基壇14×12.12m、5間×4間(9.40×7.52m)
 8世紀半ば 阿波国分寺同范瓦
 平安時代後期
 - ・河辺寺(吉野川市鴨島町) 1955、84、2005発掘調査 資料5参照
 8世紀初～前半に建立
 金堂 5間×4間(9.4×7.7m)
 - ・川島廃寺【大日寺】(吉野川市川島町) 2012～14発掘調査 資料6参照
 7世紀末～8世紀初に創建
 金堂 基壇 一部検出 螺髪出土 塑像如来像想定
 9世紀末～10世紀
- ②長評の地域
- ・立善廃寺(阿南市宝田町) 1990、91、93、94、96発掘調査 資料6参照

7世紀後半の建立 寺域・堂宇とも不明
内原瓦窯跡群 1981発掘調査

③美馬評の地域

- ・郡里廃寺【立光寺】(美馬市美馬町) 1967、68、2005～10発掘調査 資料7参照
7世紀後半の建立 = 県内最古 段の塚穴、郡家・駅想定地
金堂跡・塔跡検出
回廊は不確実
坊僧池窯跡群

- ・合蔵廃寺【中庄廃寺】(三好郡東みよし町中庄) 2005発掘調査
7世紀末～8世紀前半の建立 寺域・堂宇とも不明

(3) 律令国家「鎮護国家」の一環として(天平期の寺院)

- ・国分寺(徳島市国府町) 1964、76～78発掘調査 資料8参照
8世紀第3四半期に創建
寺域・堂宇とも不明 塔礎石
- ・国分尼寺(名西郡石井町) 1970、71、99～2005発掘調査 資料9参照
8世紀第3四半期の創建
寺域推定 金堂・講堂・北門検出
- ・如意寺跡(名西郡石井町) 瓦等
- ・常楽寺(徳島市国府町) 瓦等 2019発掘調査
- ・金剛光寺(徳島市八万町) 瓦等・梵鐘(1296年銘)
- ・内ノ御田窯跡群(入田瓦窯跡) 1970発掘調査

(4) その後の古代寺院(平安期の寺院)

遺物が出土している寺院

- ・極楽寺跡(鳴門市大麻町) 瓦等 2018発掘調査
- ・大唐国寺跡(板野郡板野町) 瓦等
- ・釈迦堂廃寺(板野郡板野町) 瓦経等
- ・立法廃寺(三好郡東みよし町昼間) 瓦等

(5) 山岳寺院

- ・太龍寺(阿南市加茂町) 阿波国司創建・空海修行伝説 平安後期文献
- ・鶴林寺(勝浦郡勝浦町) 空海伝説 平安後期 本尊地藏菩薩像
- ・大山寺(板野郡上板町) 銅経筒
- ・高越寺(吉野川市山川町) 空海修行伝説 修験道 12世紀初に文献に登場
- ・箸蔵寺(三好市池田町) 空海修行伝説

3 阿波古代の仏像・経典等 (国・県指定文化財)

(1) 奈良時代(8世紀)

1. 木造十一面観音立像 井戸寺(徳島市国府町) 8世紀か
2. 銅造誕生釈迦仏立像 大野寺(阿波市市場町) 奈良時代
3. 紙本墨書 大般若経第二百十四残巻 徳島県立博物館 天平以前
4. 大般若経巻第四百八十五 (薬師寺経) 個人(小松島市) 天平年間
5. 木造十一面観音立像 蓮華寺(三好市池田町) 8世紀か
6. 蜀江錦曼荼羅 個人(三好市池田町) 8世紀～17世紀諸説

(2) 平安時代(9世紀)

1. 木造阿弥陀如来立像 成願寺(小松島市中田町) 9世紀(8世紀か)
2. 木造十一面観音立像 青蓮院(徳島市多家良町) 9～10世紀
3. 木造毘沙門天立像 久保部落(三好市東祖谷) 9世紀頃

(3) 平安時代(10世紀)

1. 日光菩薩、月光菩薩 井戸寺(徳島市国府町) 10世紀頃
2. 樋殿谷出土蔵骨器関係資料 徳島県立博物館 10世紀か
3. 木造十一面観音立像 観音寺(勝浦郡勝浦町) 10～11世紀
4. 木造聖観音立像 瀧寺(三好市三野町) 10世紀頃

(4) 平安時代(11世紀)

1. 木造薬師如来坐像 長福寺(勝浦郡勝浦町) 11世紀前半か
2. 木造聖観音坐像 丈六寺(徳島市丈六町) 1056(天喜4)か

(5) 平安時代(12世紀)

1. 弁顯密二教論巻上 竹林院(徳島市八万町) 1175(承安5)書写
2. 木造阿弥陀如来坐像 極楽寺(鳴門市大麻町) 12世紀後半
3. 板野蔵佐谷瓦経 個人(板野町出土) 1109(天仁2)ほか
4. 銅経筒 大治元年十月十二日トアリ 大山寺(板野郡上板町) 1126(大治元)
5. 線刻如来坐像 個人(板野郡上板町) 1180(治承4)
6. 線刻如来坐像 個人(板野郡上板町) 12世紀後半
7. 阿弥陀如来立像 浄土寺(名西郡石井町) 12世紀
8. 木造釈迦如来坐像 像内に久安四年十一月卅日仏師経尋の銘がある
藤井寺(吉野川市鴨島町) 1148(久安4)
9. 木造大日如来坐像 大野寺(阿波市市場町) 12世紀後半
10. 木造 聖観音坐像 善入寺(勝浦郡勝浦町) 12世紀
11. 木造阿弥陀如来坐像 紫雲寺(阿南市羽ノ浦町) 12～13世紀
12. 地藏菩薩坐像 万願寺(阿南市那賀川町) 12世紀
13. 紙本墨書二品家政所下文 長寛元年九月廿五日トアリ 附 紺紙金泥法華経
八梓神社(阿南市長生町) 1163(長寛元)

- | | | |
|------------------|-----------------|----------------|
| 14. 線刻弥勒菩薩坐像 | 弥勒堂(阿南市福井町) | 1 1 8 5 (寿永 4) |
| 15. 木造阿弥陀如来坐像 | 最明寺(美馬市脇町) | 1 2 世紀後半 |
| 16. 木造不動明王毘沙門天立像 | 慶尊作 最明寺(美馬市脇町) | 1 2 世紀ころ |
| 17. 木造十一面観音立像 | 多聞寺(美馬郡つるぎ町) | 1 2 世紀 |
| 18. 大日如来坐像 | 地福寺(三好市井川町) | 1 2 世紀 |
| 19. 木造毘沙門天立像 | 雲辺寺(三好市池田町) | 1 1 8 4 (寿永 3) |
| 20. 木造千手観音坐像 | 経尋作 雲辺寺(三好市池田町) | 1 2 世紀半ば |
| 21. 線刻如来坐像 | 阿波市土成町安楽寺谷 | 1 1 2 5 (天治 2) |

(6) 平安時代後半・後期(11～12世紀)

- | | | |
|----------------|--------------|-----------|
| 1. 線刻阿弥陀如来坐像 | 個人(徳島市国府町) | 平安時代後期 |
| 2. 木造弥勒菩薩坐像 | 東林院(鳴門市大麻町) | 平安時代後期 |
| 3. 木造薬師如来坐像 | 童学寺(名西郡石井町) | 平安時代後期 |
| 4. 木造地藏菩薩立像 | 鶴林寺(勝浦郡勝浦町) | 平安時代後期 |
| 5. 木造聖観音坐像 | 長福寺(勝浦郡勝浦町) | 平安時代後期 |
| 6. 木造地藏菩薩半跏像 | 長福寺(勝浦郡勝浦町) | 平安時代後期 |
| 7. 木造薬師如来坐像 | 現福寺(小松島市大林町) | 平安時代後期 |
| 8. 木造大己貴命立像 | 八杵神社(阿南市長生町) | 平安時代後期 |
| 9. 木造男神立像 | 八杵神社(阿南市長生町) | 平安時代後期か |
| 10. 木造男神坐像 6 軀 | 八杵神社(阿南市長生町) | 平安後期～鎌倉時代 |
| 11. 木造男神立像 3 軀 | 八杵神社(阿南市長生町) | 平安後期～鎌倉時代 |
| 12. 銅錫杖頭 | 神宮寺(美馬郡つるぎ町) | 平安時代末期 |

(7) 平安時代(9～12世紀)

- | | |
|------------|--------------|
| 1. 木造男神坐像 | 国中神社(徳島市一宮町) |
| 2. 木造如来形立像 | 国中神社(徳島市一宮町) |

おわりに

阿波古代の仏教文化

- ・ 古代寺院は白鳳期から
 - 地方豪族の造営 勢力状況との関連性 先進文化(仏教)の受容
- ・ 国分寺・国分尼寺の造営 律令国家支配の象徴として造営・運営
- ・ 平安期 山岳寺院 密教や修験道との関連 まだまだ不明点が多い
- ・ 平安末期(12世紀)に仏教文化の浸透が濃厚となる仏像や石造物の増加と存在
- ・ 「四国辺地(しこくへち)」＝聖(ひじり)の修行 『梁塵秘抄』『今昔物語』
 - 四国遍路の起源

主な引用・参考文献

- 阿南市史編さん委員会. 1987. 阿南市史 第一巻. 阿南市
- 天羽利夫・一山典. 1987. 新修国分寺の研究 第五巻上. 吉川弘文館
- 板野町史編集委員会. 1972. 板野町史. 板野町
- 一山典ほか. 1994. 図説徳島県の歴史. 河出書房新社
- 岡本治代. 2015. 瓦から見る古代の阿波―寺院と役所―. 徳島県立博物館
- 香川県立ミュージアム. 2017. 讃岐びと、時代を動かす―地方豪族が見た古代世界―
- 金子裕之編. 1989. 古代史復元9古代の都と村. 講談社
- 木本誠二. 2009. 郡里廃寺跡の調査成果と史跡保存の経緯. 阿波学会紀要55. 徳島県立図書館
- 財団法人徳島県埋蔵文化財センター. 1997. 立善寺跡遺跡. 徳島県教育委員会
- 財団法人徳島県埋蔵文化財センター. 2006. 河辺寺跡・合蔵廃寺跡遺跡. 平成15-16年度指定史跡保存活用事業埋蔵文化財発掘調査報告書(Ⅰ). 徳島県教育委員会
- 徳島県. 2020. 盛寿山延命院 常楽寺 四国八十八箇所霊場第14番札所
- 徳島県. 2021. 日照山無量寿院 極楽寺 四国八十八箇所霊場第2番札所
- 徳島県教育委員会. 1962. 石井. 吉川弘文館
- 徳島県教育委員会・石井町教育委員会. 1972. 阿波国分尼寺遺跡(第2次)緊急調査発掘調査概報
- 徳島県博物館. 1983. 忌部山古墳群. 徳島県博物館
- 徳島考古学論集刊行会. 2002. 論集徳島の考古学. 徳島考古学論集刊行会
- 徳島市教育委員会社会教育課. 1981. 阿波国分寺跡―出土遺物展―. 徳島市教育委員会
- 徳島市教育委員会社会教育課. 1982. 歴史時代の徳島市―阿波の古瓦―. 徳島市教育委員会
- 徳島市史編さん室. 1973. 徳島市史 第一巻. 徳島市
- 日本第四紀学会. 1992. 図解・日本の人類遺跡. 東京大学出版会
- 長谷川賢二. 2023. 四国遍路の源流―海辺の巡りから八十八か所への転回. 徳島から探求する日本の歴史. 地方史研究協議会. 文学通信
- 早瀬隆人. 1999. 金泉寺と金光明廃寺. 金泉寺遺跡・川端遺跡. 財団法人徳島県埋蔵文化財センター編. 徳島県教育委員会
- 町田章編. 1989. 古代史復元8古代の宮殿と寺院. 講談社
- 湊哲夫・亀田修一. 2006. 吉備の古代寺院. 吉備人出版
- 美馬市教育委員会. 2018. 郡里廃寺跡調査報告書
- 美馬町史編集委員会. 1989. 美馬町史. 美馬町
- 三好昭一郎監修. 2000. 歴史地名体系37徳島県の地名. 平凡社
- 三好町史編集委員会. 1997. 三好町史. 三好町
- 三好町教育委員会・三好町文化財保護審議会. 2001. 三好町の史跡と遺跡
- 吉野川市教育委員会. 2016. 川島廃寺跡